

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	エイズ等対策促進事業		部課コード	1402	予算事業科目	010402040235	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	健康福祉部	部局長名(2次評価者)	岡林 敏行		個別事務	全部	010402040235	-	1	
	担当部署	地域保健課	所属長名(1次評価者)	豊田 誠					-		
	電話番号	088-822-0577	E-mail	kc-140200@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01	一般会計	目標	02	Bいきいきと輝き安心して暮らせる都市	政策基本方針	地域に暮らす人々が、年齢の違いや障害の有無にかかわらず、人生のあらゆる舞台上、健康で文化的な生活を享受できる環境づくりを推進します。				
款	04	衛生費	政策	04	健やかに暮らせる環境づくり						
項	02	保健所費	施策	01	健康づくり支援						
目	03	健康づくり推進費	区分	06	結核・感染症対策の推進						

2 事業の根拠

法律・政令・省令	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民、青少年、企業・団体、教育関係者、医療従事者等		
意図	どのような状態にしていけるのか	エイズに対する正しい知識の普及・啓発によりまん延を予防し、偏見等を除き、エイズ予防について主体的に考え取り組みができるように努める。		
手段	事業実施体制等	エイズ予防のための推進体制の整備、啓発・普及の推進、検査・相談体制の整備・充実、マンパワーの育成	事業開始年度	平成10年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	HIV感染予防のための正しい知識の普及啓発、HIV抗体検査の利便性向上に向けた体制整備、人材育成		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	HIV抗体検査受検者数	感染者の早期発見し、まん延を予防する。	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	HIV抗体検査受検者数	550	700	900	800	平成21年度は、新型インフルエンザの影響が全国的に受検者が減少している。	
		目標	698	753	514			
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	1,388	1,624	1,301	1,626		
		財源内訳	国費 (千円)	614	772	724		767
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	774	852	577		859
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	7,500	7,500	7,500	7,500		
		正規職員 (千円)	7,500	7,500	7,500	7,500		
			その他 (千円)					
		人役数 (人)	1.00	1.00	1.00	1.00		
			正規職員 (人)	1.00	1.00	1.00		1.00
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		8,888	9,124	8,801	9,126			
市民1人当たりコスト (円)		26	27	26				
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714				
						総コスト/年度末人口		

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 17 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	本事業は、エイズに対する正しい知識の普及、相談検査体制の整備充実を目標にしており、本市総合計画に掲げる「健康危機管理体制と感染症対策の強化（仮題）」の趣旨に合致している。 また、全国的に新たにAIDS/HIVと診断される患者の数は増加を続けており、潜在的な市民のニーズは増加傾向にあると考えられる。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	平成21年度は新型インフルエンザの影響もあり、全国的に保健所の受検者は減少傾向にあったが、高知市でも同様であった。しかし、これまでの人口当たりの受検者は全国の中核市の中でも高く、高知県内の保健所受検者の8割以上の受け皿となっている。 受検者の年齢構成も若年者が多く、受検のきっかけもマスコミ、インターネット、口コミなど複数のきっかけにより受検に結びついており、手法・活動共に概ね妥当と考える。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	HIV検査については、国は無料匿名によるHIV検査の実施を求めている。また、プライバシーの保護についても、特段の配慮を求めている、医療機関委託にはそぐわない。 また、受検者同士がなるべく顔を合わせず、検査、相談が出来るように、場所、動線にも配慮を払いながら事業を行っており、事業の統合・連携といった効率性は求めにくい。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	4.0	検査の対象者がHIV感染のリスクのある人になり、感染リスクはセクシャルアクティビティにより偏りがある。しかし、HIV検査受診の呼びかけは、マスコミ、ホームページ、広報を通じて広く市民に呼びかけており、公平性は保たれている。 また、国が無料・匿名検査を前提に1/2の補助金を設定していることから、受益者負担はなじまない。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	16.0	総合評価	○ A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合） D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 30 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--